

# 日本語学習支援フォーラム

～これからのかながわの地域日本語教育を考えよう～

—外国籍県民の立場から—

崔 英善

(ちえ よんそん)

2020.10.24.

# 自己紹介

- 2000年 来日（韓国にて記者）
- 研究員、行政職員、ボランティア活動
- 日本外国人ネットワーク代表

# 日本語習得歴

## 日本語学校

- ・ 昼(平日9:00~13.00)、1年半
- ・ Zero Beginner
- ・ 厳格な教師主導型・教科書中心
- ・ 文法・語彙・聞き取り・会話・読解

## 地域

## 日本語教室

- ・ 夜(2時間)、週末(土の昼、2時間)、3年
- ・ 旧日本語能力2級程度(来日6ヵ月~)
- ・ 柔軟な教師主導型・教科書中心
- ・ 旧日本語能力試験1級対策(文法・聞き取り)
- ・ 会話、作文(大学院入試の計画書の添削)

# 日本語習得歴

・スタッフ  
(多文化関連)  
・ボランティア

- ・ 仕事(会議)に関わる日本語の習得
- ・ 「日本語を教える」経験→韓国人、中国人、ベトナム人、アメリカ人
- ・ 子どもを支援するバイリンガル指導者の養成講座の主催

学校  
(専門・大学院)

- ・ 就業の基盤となる日本語へと目的の変化

# 地域日本語教室に通いつづけた理由

## 1. アクセスのしやすさ

(駅から徒歩3分、家から自転車で10分)

## 2. ニーズに符合

(試験、仕事、趣味など)

## 3. 居心地のよさ

(対等、異文化に寛容、やさしさ、交流)

## 4. 無料(ありがたさの還元)

# 日本語学校のメリット

1. 体系的に短時間での習得
2. 日本語習得の目的の高揚
3. 正しい日本語・応用力の涵養
4. 初期段階の「生活者としての外国人」に必要な手続きなどの支援

# 地域日本語教室のメリット・デメリット —外国人側の観点から—

## メリット

1. 地域社会との接点
2. 実践的なコミュニケーション

## デメリット

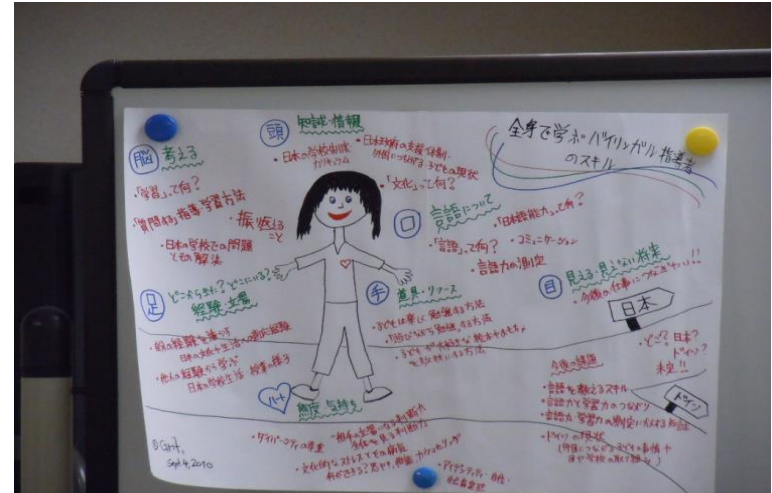
1. 体系的な習得の難しさ

# これからの地域日本語教室

1. 初期段階の体系的な日本語や  
日本文化の学び場
2. 子どもと一緒に学べる場
3. 外国人住民の力を活かし、共につくる  
(指導側としての役割の模索)



# (参考) 外国人住民の力を活かす バイリンガル指導者養成講座(2010.2011)



ご清聴ありがとうございます。

- これからもよろしくお願ひします。